









5・6年生の部のルール

ルール	FIGルールを採用します。 * 特別減点項目があります。(詳細下記)				
競技方法	得点により順位を決定します。 (予選上位 35 名が決勝進出、予選得点+決勝得点で総合順位を決定します。)				
審判員	FIGルールに則る(帯同審判制)				
予選/決勝	予選種目  クラブ より上位 35 名が決勝へ進みます 決勝種目  リボン 予選得点+決勝得点 = 総合順位				
予選通過順位	上位 35 名				
表彰方法	予選+決勝得点上位 8 名 並びに特別賞(例: 音楽が年齢的や演技の内容、選手の雰囲気になさわしい)				
手具	予選種目  クラブ / 決勝種目  リボン (手具点検を行いません。但しリボンは5m以上にてお願いします。)				
音楽	自由(歌詞あり可) * 選手が自分で選ぶようにして下さい。 * 年齢的な事、演技や表現などに合せて選手でも理解できる曲にしてください。				
衣装	FIGルール * 選手が自分で選ぶようにして下さい。				
演技時間	1 分 30 秒以内				
フロア	13m × 13m				
難度について	<p>難度価値の上限はありません。難度の上限だけでは難度の数と混乱しやすいかもです ジャンプ×左右、バランス(バランス・柔軟)×左右、ローテーション(ピボット・柔軟)×左右 = 計 6 個(左右同難度)+ダンスステップ 8 秒以上を入れて下さい。 (ダンスステップ:・8 秒間以上のテンポ、リズム、音楽的なアクセントとの一致。 ・社交ダンス的なステップ、民族舞踊、モダンダンス等。)</p> <p>* 特別減点項目</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ADD8E6; width: 20%;">音楽減点</td> <td>小学生になさわしくない曲、演技や選手の雰囲気にあっていない音楽は減点となります。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ADD8E6;">難度の多様性減点</td> <td>フォームの偏りは減点となります。 (例: * バランスで後足もちバランスを左右使用した場合、胸の後屈を伴うジャンプや後ろ脚もち、MG キックなどのバランスおよびローテーション(左右)は使えません。)</td> </tr> </table>	音楽減点	小学生になさわしくない曲、演技や選手の雰囲気にあっていない音楽は減点となります。	難度の多様性減点	フォームの偏りは減点となります。 (例: * バランスで後足もちバランスを左右使用した場合、胸の後屈を伴うジャンプや後ろ脚もち、MG キックなどのバランスおよびローテーション(左右)は使えません。)
音楽減点	小学生になさわしくない曲、演技や選手の雰囲気にあっていない音楽は減点となります。				
難度の多様性減点	フォームの偏りは減点となります。 (例: * バランスで後足もちバランスを左右使用した場合、胸の後屈を伴うジャンプや後ろ脚もち、MG キックなどのバランスおよびローテーション(左右)は使えません。)				
会場入場	メインフロアに入場できるのは選手及び音楽係り(選手・中学生以下)のみとなります。				

3・4年生の部のルール

ルール	FIGルールを採用します。 * 特別減点項目があります。(詳細下記)				
競技方法	得点により順位を決定します。 (予選上位 35 名が決勝進出、予選得点+決勝得点で総合順位を決定します。)				
審判員	通常より、人数を減らして行います。(帯同審判制)				
予選/決勝	予選種目  Uロープ より上位 35 名が決勝へ進みます 決勝種目  ボール 予選得点+決勝得点 = 総合順位				
予選通過順位	上位 35 名				
表彰方法	予選+決勝得点上位 8 名 並びに特別賞(例:音楽が年齢的や演技の内容、選手の雰囲気になさわしい)				
手具	予選種目  Uロープ / 決勝種目  ボール (手具点検を行いません。ボール等はサイズが小さい物でも可能です。)				
音楽	自由(歌詞あり可) * 選手が自分で選ぶようにして下さい。 * 年齢的な事、演技や表現などに合せて選手自身が理解できる曲にしてください。				
衣装	FIGルール * 選手が自分で選ぶようにして下さい。				
演技時間	1 分以内				
フロア	13m × 13m				
難度について	<p>難度価値の上限はありません。</p> <p>ジャンプ×左右、バランス(バランス・柔軟)×左右、ローテーション(ピボット・柔軟)×1 個 = 計5個+ダンスステップ 8 秒以上を入れて下さい。(3・4年生の部では、ユニットは禁止) (ダンスステップ:・8 秒間以上のテンポ、リズム、音楽的なアクセントとの一致。 ・社交ダンス的なステップ、民族舞踊、モダンダンス等。)</p> <p>* 特別減点項目</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="background-color: #D9E1F2; text-align: center; width: 25%;">音楽減点</td> <td>小学生になさわしくない曲、演技や選手の雰囲気になっていない音楽は減点となります。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #D9E1F2; text-align: center;">難度の多様性減点</td> <td>フォームの偏りは減点となります。 (例: * バランスで後足もちバランスを左右使用した場合、胸の後屈を伴うジャンプや後ろ脚もち、MG キックなどのバランスおよびローテーション(左右)は使えません。)</td> </tr> </table>	音楽減点	小学生になさわしくない曲、演技や選手の雰囲気になっていない音楽は減点となります。	難度の多様性減点	フォームの偏りは減点となります。 (例: * バランスで後足もちバランスを左右使用した場合、胸の後屈を伴うジャンプや後ろ脚もち、MG キックなどのバランスおよびローテーション(左右)は使えません。)
音楽減点	小学生になさわしくない曲、演技や選手の雰囲気になっていない音楽は減点となります。				
難度の多様性減点	フォームの偏りは減点となります。 (例: * バランスで後足もちバランスを左右使用した場合、胸の後屈を伴うジャンプや後ろ脚もち、MG キックなどのバランスおよびローテーション(左右)は使えません。)				
会場入場	メインフロアに入場できるのは選手及び音楽係り(選手・中学生以下)のみとなります。				






キッズコンテストの部のルール



ルール	個人で行う自由演技にします。 *楽しく自由に振付して下さい。
競技方法	審査委員による、コンテスト
予選／決勝	ありません。 但し、入賞者はチャイルド選手権・決勝日にエキシビションを行って頂きます。
表彰方法	コンテスト受賞
手具	自由にお使い下さい。(手具を使用しても、しなくても可・新体操の手具でなくても良いです。)
音楽	自由(歌詞あり可) *選手が自分で選ぶようにして下さい。 *年齢的な事、演技や表現などに合せて選手自身が理解できる曲にしてください。
衣装	自由(着ぐるみも可) *選手が自分で選ぶようにして下さい。
演技時間	1分以内
フロア	13m × 13m
難度について	ありません
会場入場	メインフロアに入場できるのは選手及び音楽係り(選手・中学生以下)のみとなります。

《ルール補足事項》

(1) 難度

- ① 3・4年生は、ジャンプ・バランスは左右同難度で行うこと。
ローテーション難度は左右どちらか1つでよい。
徒手難度には、手具操作を伴うこと。(添付一覧表を参照)
- ② ダンスステップコンビネーションは最低1つ入れること。
手具操作を伴うこと(添付一覧表を参照)
- ③ 難度価値の上限はないので価値点が1.0を超えても良い。(チャイルド特別ルール)
- ④ 難度の前と後ろに  (回転)  (波動)、難度中に  (スローターン) をつけると0.1の価値を上げることができる。

(例) 後方ブリッジ + \overline{F} = $0.10 + 0.50 = 0.60$ となる。

*上記の追加の要素を難度と組み合わせて使う場合は、左右で行うこと。
また、直結していること。

- ⑤ バランスは、踵をつけた状態で実施することができる。
その場合の価値は0.10下がる。この場合のシンボルは、下方の
↓を書き加える(例: $\downarrow\overline{F}$ = 0.4)
(例) 後方ブリッジ + $\downarrow\overline{F}$ = $0.10 + 0.40 = 0.50$ となる。

*踵を下げて行う場合は、左右共に下げて行うこと。

- ⑥ 難度の使用について
・ 難度価値の上限はなし。2つ以上の難度を組み合わせることが出来る。

<組み合わせ方>

- ① 組み合わせる場合は、軸足を変えてはいけません。
- ② 左右差のない難度を組み合わせることはできません。
- ③ 右とは、ジャンプの前足が右、バランスの動足が右、ピボットの動足が右
- ④ 回転の難度の右とは、右手側に回る

<左右差のない難度の例>

ジャンプ

- NO. 2のアーチ 0.1
- NO. 4両脚とびの左右開脚ジャンプ 0.2 と 0.3
- NO. 6リング 0.4

バランス

- NO. 6の床でのお腹支持の背筋難度 0.1・0.2・0.3
- NO. 7の蛇動 0.1・0.3
- NO. 8のひじ支持によるバランス 0.1・0.2

(2) R (回転と投げを伴ったダイナミック要素)

- ① 5・6年生は最高3つまで入れることが出来る。もしくは入れなくてもよい。
- ② 3・4年生は最高1つ入れることが出来る。もしくは入れなくてもよい。

- ③ R の一部として回転要素は、単独または2つ以上のシリーズにて一度だけ使用できる。

(例) 1つ目の R で、「シェネ×2+前転」を行った場合、2つ目、3つ目の R では、シェネと前転は使用できない。

*申告方法は、付録を参考にしてください。

<付録>

- ① 「各手具の基礎技術グループとその他の技術グループ一覧」

*徒手難度とダンスステップコンビネーションに組み合わせる手具操作は、一覧表の(各種具)どの操作でもよい(チャイルド特別ルール)

- ② 「 R の基本価値と基準」

「 R の追加基準一覧」




















- ③ 申告例






















(3) 減点項目

減点	0.10	0.30	0.50
	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽減点 小学生にふさわしくない曲、演技や選手の雰囲気にあっていない音楽の使用(チャイルド特別ルールE審判) 	<ul style="list-style-type: none"> ・難度のフォームの偏り (チャイルド特別ルールD審判) 	<ul style="list-style-type: none"> ・申告書/演技に入れなくてはならない難度の加不足、各要素につき(チャイルド特別ルールD審判) ・申告書/演技に3個より多く R が申告されている(5・6年生) ・申告書/演技に1個より多く R が申告されている(3・4年生) ・申告書/演技から1つのダンスステップコンビネーションが欠けている(D審判)




第 15 回チャイルド選手権ルール；付録①

1.3.1. 各手具の基礎技術グループとその他の技術グループ一覧

手具	手具の基礎技術グループ群	その他の手具の技術グループ
U	 ジャンプにてロープをくぐり抜ける ロープは前方、後方、または側方に回す	 <ul style="list-style-type: none"> ・回しのシリーズ(最低3回)、ロープは2つ折り ・開いた状態で1回転、ロープを伸ばして、真ん中もしくは端を持って
	 シリーズ(最低3回)での小さなホップにてロープをくぐり抜ける、ロープは前方、後方、または側方に回す	
	 “エシャッペ”；らせん	
O	 身体全体または身体の一部をフープにくぐらせる	 身体 of 全てまたは一部がフープを超える
	 身体上の最低でも2部位によるフープの転がし  床上でのフープの転がし	 小さな投げ/受け
	 手の周りでの回しのシリーズ(最低3回) 身体の一部での自由な回し	
	  : フープの軸回し <ul style="list-style-type: none"> ▪ 指の間での自由な1回転 ▪ 身体の一部上での自由な1回転 ▪ 床上での回転のシリーズ(最低3回) 	
	 身体上の最低でも2部位によるボールの転がし  床上でのボールの転がし	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ボールの“フリップオーバー”操作  <ul style="list-style-type: none"> ▪ ボールの周りでの片手/両手の回転 ▪ 補助付きの小さな転がしのシリーズ(最低3回) ▪ 床上のボールの上を身体で転がる
	 つき: <ul style="list-style-type: none"> ▪ 小さなつきのシリーズ(最低3回) ▪ 1つの高いつき ▪ 身体の一部による明確なつき返し 	 小さな投げ/受け
	 ボールの8の字 腕の動き(回し)と胴体の大きな動きを伴う	
 ボールの片手受け		

手具	手具の基礎技術グループ群	その他の手具の技術グループ
	 風車:クラブの最低4つの小さな回転を、時間を遅らせて交互に、手首/手をクロスしたり開いたりして	<ul style="list-style-type: none"> 1本または2本のクラブによる身体の一部上または床上での回転  1本または2本のクラブによる身体の一部上または床上での転がし 身体からの1本または2本のクラブのつき返し “滑らせる(スライディング)”の動き 打ち
	 2本のクラブによる小円のシリーズ(最低3回)	 1本のクラブによる小円のシリーズ(最低3回)
	 2本のクラブによる非対称の動き、クラブは異なる形または大きさと異なる面または方向の両方を伴わなければならない	 1本のクラブによる小さな投げ/受け
	 2本のクラブによる小さな投げ/受け、クラブは同時または次々と回転を伴って投げる	 2本のクラブによる投げ/受け、同時に  (↑) 2本のクラブによる非対称の投げ  “滝状”の投げ/受け(ダブルまたはトリプル)
	 らせん(4-5の輪)、間がつままっていて同じ高さで  床上でのらせん	 “プーメラン”
	 蛇形(4-5の波)、間がつままっていて同じ高さで  床上での蛇形	<ul style="list-style-type: none">  手の周りでのスティックの回転の動き 身体の一部上でのスティックの転がし 身体の一部でのスティックのつき返し
	 リボンの形の中をくぐり抜ける、または上を超える	
	 “エシャッペ”	
	 注意:受けから直接に転がす。この転がしはフープとボールの基礎要素として数えられる。	

1.3.2. 全ての手具に対するその他の技術グループ一覧

	投げと受け
	<p>手具操作(手具は動いていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分な身体の動きを伴った8の字運動(ボールは除く) 大きな回旋 身体のある部位周りでの、あるいは脚(両脚)の下での手具の持ち替え 巻きつけ(ロープ、リボン)、つき返し、など
	身体の一部上による不安定なバランス

チャイルド選手権ルール；付録②

1.4.1. R の各追加基準

- 追加基準は、手具を投げる時と/または手具を受ける時と/または身体の回転中に実施することが可能である（追加基準一覧を参照）
- 各追加基準は、 R の基本価値である 0.10 点ずつ上がっていく。
- 選手が1つまたはいくつかの基準を実施しない、または回転数が不足した場合、最低2つの回転を行うことを条件に R の価値として実施しなかった基準の分を削除していく。
- 難度申告書には、あらかじめ回転の合計数と追加の基準のシンボルを明記すること。

例： R_3 ~~⊕~~ ~~⊗~~ = 0.50

例： ~~⊕~~ ~~⊗~~ R_2 ~~⊗~~ = 0.50

1.4.2. R の追加基準一覧

追加基準 R	
⊕	身体の回転軸の変更、手具が空中にある間、または受けながら
⊗	視野外での投げ/受け
⊕	手以外での投げ/受け
┌	高さの変更
⊕→	手具をくぐり抜けながらの投げ/受け
手具の特殊な投げ	
⊕ ⊕	手具の軸回し；水平面、垂直面
↗	斜めの面
↗↖	2本のクラブによる投げ/受け
↗↘	2本のクラブによる非対称の投げ ロープ/クラブのミックス受け ジャンプ中の脚（両脚）の下からの投げと/または受け
↗↗	クラブ：滝状の投げまたは連続した投げ
—	開いた状態のロープ
手具の特殊な受け	
↓	転がしながらダイレクトに受ける
↖	投げ返し/つき返し
⊕	回しながらダイレクトに受ける

全日本新体操チャイルド選手権

個人競技

審判

難度 (D)

審判 No.

日付

所属

5・6年生の部

試技順

選手 No.



価値	難度	審判	価値	難度	審判
	0.3				
	0.5				
	0.3				
	0.3				
	0.3				
	0.3				
	0.3				
	0.3				
	0.5				
		→	ダンスステップは何回入れてもかまいません。		
	0.3				
減点項目				合計	
0.1				4.3	
・音楽減点/小学生にふさわしくない曲の使用 (チャイルド特別ルール E 審判)				減点	
0.3					
・難度のフォームの偏り (チャイルド特別ルール D 審判)					
0.5				審判最終得点	
・申告書/演技に入れなくてはならない難度の加不足、各要素につき (チャイルド特別ルール D 審判)					
・申告書/演技から最低1つのダンスステップコンビネーションが欠けている (D 審判)					
・申告書/演技に3個より多く R が申告されている					

コーチ署名.....

審判員署名.....

全日本新体操チャイルド選手権

個人競技

審判

難度 (D)

審判 No.

日付

所属

3・4年生の部

試技順

選手 No.



難度		審判	難度		審判
価値	0.3		価値		
		<p>→ ダンスステップは 0.3、左に手具操作を記入します</p>			
価値	0.2		価値		
(右)					
価値	0.2		価値		
(右)					
価値	0.3		価値		
価値	0.2		価値		
(左)					
価値	0.4		価値		
		<p>→ 投げの時の回転も含まます</p>			
価値	0.3		価値		
		<p>→ 回転数を数字で記入します</p>			
価値	0.2		価値		
(左)					
価値			価値		
価値			価値		
減点項目					合計 1.5
0.1					
・音楽減点/小学生にふさわしくない曲の使用 (チャイルド特別ルール E 審判)					減点
0.3					
・難度のフォームの偏り (チャイルド特別ルール D 審判)					
0.5					審判最終得点
・申告書/演技に入れなくてはならない難度の加不足、各要素につき (チャイルド特別ルール D 審判)					
・申告書/演技から最低1つのダンスステップコンビネーションが欠けている (D 審判)					
・申告書/演技に1個より多く R が申告されている					

コーチ署名.....

審判員署名.....